

研究結果報告書

歴史としての金大中・小渕日韓共同宣言：その意味と政策的含意

所属：慶南大学極東問題研究所

役職：助教授

氏名：趙眞九

研究結果

歴史としての金大中・小渕日韓共同宣言：その意味と政策的含意

2018年10月30日、韓国大法院（最高裁判所）は日本植民地支配下で強制動員され、働かされた韓国人被害者とその遺族が日本企業を相手として提訴した損害賠償訴訟で日本企業に慰謝料の支払いを命じる判決を命じた。2015年12月28日の韓日「慰安婦」合意を受けて設立された「和解・癒し財団」の解散決定とともに、韓日間の歴史認識問題が浮上し、韓日関係は1965年6月の国交正常化以降、最悪といわれる事態となっている。

韓国大法院は、植民地支配の不法性を認めただけではなく、それによる非人道的な不法行為による被害への慰謝料の支払いを日本企業に命じたのである。植民地支配の不法問題は13年8ヶ月に及んだ韓日間の交渉過程で最大問題であったが、両国の認識の隔たりが大きく、最終的には、無効の時期をあいまいにしたまま、1910年の韓日強制併合条約が「もはや」無効であるという政治的な妥協をしたのである。

金大中・小渕共同宣言は、1965年に結ばれた韓日基本条約と請求権協定などの付属協定のどこにも植民地支配によって韓国が被った被害への謝罪や反省の言葉が含まれていなかったことを補完した歴史的な文書であった。また、共同宣言は、韓日両国で高い評価を受け、それに込められている和解や未来に向けた協力の精神は次の世代へと受け継がれるべきである。

共同宣言20周年を迎えた2018年、両国の往来者数が初めて一千万人を超えた画期的な年であったが、日本軍「慰安婦」問題、強制動員被害問題（元徴用工問題）、海上自衛隊哨戒機へのレーダー照射問題などをめぐって韓日両国がこれまでにない激しい対立を繰り広げた年でもあった。両国の対立はさらに深刻化していき、2019年6月末大阪G20サミットでは韓日首脳会談さえ開催されない異例の状況が生じた。

なぜ、韓日関係がこのような状態に陥ったのか。

まず指摘すべきは両国首脳間の信頼の欠如である。それは両首脳の生い立ちや経歴、哲学や政治観の相違によるものであろうが、相手国に対する理解や思いやりが十分ではないことも看過できない。

第2は、朝鮮半島と日本を含む東アジアの国際環境の変化に対する認識の相違である。特に、北朝鮮（の脅威）に対す韓日の認識の相違は、金大中・小渕の時とは違って両国の協力を弱める要因となっている。

第3は、金大中・小渕や文在寅・安倍のコンビは、韓国の進歩と日本の保守であることでは同じだが、政治家や政策決定者のみならず、両国内の世代交代も現在の韓日関係に影を落としていくように思われる。

最後に、両国を取り巻く国際環境の変化に関し、両国あるいは指導者がどのような未来を描き、その中で相手をどう位置付けているのかとも関連がある。

以上の点を考慮に入れると、金大中・小渕共同宣言は、今後の新たな韓日関係を構想していくうえで基礎となるべきであろう。

であれば、何をどうすべきだろうか。二つの提言をしてみたい。

一つは、首脳同士のコミュニケーションを緊密にしていくという認識を共有する必要がある。

特に、日韓両国が東アジアでは民主主義や人権などの基本的価値を共有できる唯一の国同士であることを確認していかねばならない。両国を取り巻く今日の状況をみると、1998年とは変わってきており、それを踏まえて、両国の国家戦略などについて外交・国防閣僚レベルの戦略対話（2+2）を始めることが喫緊の課題であるように思われる。

もう一つは、両国関係のトゲのような懸案で歴史問題に対する和解が重要である。和解は一方的な営みによってではなく相互的なアプローチによって可能である。そのためには、加害者として日本は真摯に反省し、韓国側にはそれを受け入れる寛容が必要であり、それこそが金大中・小渕共同宣言の真髄であるといつてよい。

以上のようなことは、日韓両国のみならず東アジアの繁栄と安定にも寄与するところが大きく、それ故に、日韓両国はミドル・パワーとして一国の国益を超えてこの地域の利益、すなわち地域益を作り上げていこうとする意志をより広く発信していかなければならないと思われる。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

在職中の慶南大学極東問題研究所内の研究会で金大中・小渕共同宣言に至る経緯、その後、金大中政権の政策を受け継いだとされる盧武鉉、文在寅の両政権の対日認識や政策と如何なる違いがあり、その背景に何があるのかについて報告する予定(日程は未定)

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

成果は可能であれば日本語で書いて掲載を試みたい

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)